

平成 25 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,350,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,315	16,670	14,975	15,972	13,659
	移動児童館利用者数	2,473	2,965	1,852	2,467	2,099
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	28	23	24	22	22
	開館日数(単位:日)	144	150	144	150	145

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、児童厚生員(嘱託、常勤パート、非常勤パート各1名(所長を含め児童厚生員4名))。 ③機関紙「わんぱくっこ」及び「幼児向け日程表」等の配布、ぶりあネット登録。 ④定期的にアンケートを実施するとともに日常「ご意見箱」を設置して利用者の苦情、要望を吸い上げ改善するなど対応した。アンケート結果は館内掲示などにより公表。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施。光熱水費の省エネに努めた。工作材料に廃材積極的に使用し、エコロジー教育の実践を行っている。 ④破損した玩具についてはおもちゃ病院の協力を得て修繕した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②机上訓練を含め、月1回の避難訓練を実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年12月10日～17日 幼児クラブ1歳児に登録している母親にアンケートを実施。 登録者数53名 回答者40名(回収率75%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブはいかがでしたか？ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがとても楽しんでいたので満足している。毎回クラブに行くのが楽しみだった。 ・毎回季節に合った内容で楽しく参加できた。ビニール風船は家でも喜んで遊べた。 ・体操やお話もあり、充実した内容であったという間で楽しかった。 ・家では体験できないことを親子共々経験できてとても楽しく過ごせた。子どものためになった。 ・体操などでできないものの子どもの喜んでる顔が見れて、いつも楽しく参加できた。 ・朝寝の時間とかぶり不機嫌な時が多かったが楽しい時間を過ごせた。 ・子どものいろんな一面や表情が見ることができて嬉しかった。 ・挨拶や体操ができるようになったり歌ったりたくさん話すようになって嬉しい。成長を感じた。 ・同年齢の子と接する機会が持てて親子共々良い時間を過ごせて、感謝している。 ・たくさんのお母さんたちとも知り合いになれて話もできて息抜きになった。 ・動き回ることが少なくなり、集団生活も少しずつ理解してくれたように思う。 ・隔週のペースがとてもよかった。等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望⇒回答 <ul style="list-style-type: none"> ・館内に毎日食事ができるスペースがあるとありがたい。昼食の始まるの時間をもう少し早めてくれたら嬉しい。⇒現状館内での場所の確保は困難。老人センターのスペースなので困難。 ・9時からあそべるとありがたい。駐車場を増やしてほしい。⇒現状では困難 ・咳エチケットを徹底してほしい。児童館に来るたび風邪をうつされる。若いママさん達、靴脱ぎ場で平気で座り込まないでほしい。⇒個々の良識とマスクをするなどの自己防衛を期待するしかない。 ・おもちゃもあるし、本も借りられるので満足している。本の返却を3週間にしてほしい。⇒再貸し出しも可能。(市立図書館も2週間になっている) ・夏のプールの回数が増えると嬉しい。⇒夏休みは小学生行事等企画が多く、難しいが検討する。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	SS	SS	SS
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	SS	SS	SS
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>○前期に新設した幼児(親子)向けの事業(「ベビーヨガセラピー」「お父さんのためのベビーマッサージ」「キッズタッチ」)を定着発展に努めた、また、ベビーヨガセラピーに際し母親向け骨盤矯正のプログラムも追加して実施した。利用者からはたいへん良い評価を受けている。</p> <p>○岐阜市歯科衛生士協会所属の歯科衛生士を講師として歯の健康講座を実施した。</p> <p>○新しい玩具、優良図書の増設等利用者目線で設備品を増やした。また、新刊の図書をわかりやすいように本棚の上に並べて紹介したことも、利用者には新鮮であったようで、良い評価を得ている。今期は、本の解説等の掲示物を増やすなど、更に充実を図った。</p> <p>○児童の行事に関して、積極的にリクエストを取り入れ、行事の回数と種類を増やした。又、結果を館内に発表したり、お便りに掲載する事で子どもの意欲の効用を図った。(前年度同期比37%増)</p> <p>子どもの参加数も増えて、好評を得ている。</p> <p>○接遇に関しては、今までどおりを維持した。利用者には良い評価を得ている。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>○事業団内の児童館・児童センターの職員を対象にほぼ月に1回のペースで研修会を開催している。その中で指導技術等のノウハウを共有する機会を設けており、それぞれ持ち寄ったレシピの交換等研鑽に努めている。</p> <p>また、岐阜県児童館連絡協議会の主催する研修会にも積極的に参加をする事で、参加者のスキルアップを図ると共に、学んだスキルを持ち帰り、職員間で共有する事で、利用者サービスの向上を図っている。</p>
今後の取組み	<p>○児童を取り巻く環境は、ますます厳しくなっていると思われる。テレビゲームの普及・定着で子ども達の遊びが大きく変化している。1人遊びがその中心となっていることは、群れて遊ぶ(集団遊び)機会が失われてきている。すなわち子ども達の社会性を育てる機会が失われていることで、それが、大人になってから会社になじめない体質を作ったりしてニートの増加等、その影響は深刻である。そんな中、子育て支援三法がいよいよ施行されるが、しかし残念なことに、その中に児童館という文字が見当たらない。今、地域を見渡した時に、異学年異年齢の子ども達が集団で遊ぶ姿は、児童館以外では、なかなか見られないのが現状である。児童館では異学年の子どもが、集団で遊ぶ機会に恵まれ、子どもの社会性を育むだけでなく、様々なメニューを用意する事で、個性を伸ばす機会になり、自己肯定感を育てる可能性を秘めている。私達は、そんな児童館で遊ぶ子どもを少しでも増やすことができるように、いっそう施設サービスの充実を図るとともに、子ども達だけでなく地域に児童館の存在と、その機能を周知する事が望まれている。また、「核家族」「社会形態の変化」に伴う子育て最中の母親の孤立化も目立っている中、児童館は「虐待予防機能」「少子化対策機能」も持ち合わせている。このようなことを踏まえて、児童館がその持っている機能を充分に発揮する事によって、地域の研修児童の健全育成、子育て支援の拠点施設となるよう努めていきたい。</p>

●所管課の意見

児童館と法人のホームページによる児童館の紹介、毎月のおたよりの掲載、地域の公民館等の施設内に児童館の紹介スペースを設けて、パンフレット、小学生向けのおたより、幼児向けの行事案内を置くなどの広報活動を行った。運営委員にもおたよりを配布し、児童館事業の周知と理解に努めた。

利用者ニーズの把握のため、アンケートやご意見箱を利用し、おもちゃや優良絵本を充実させた他、新刊図書の配置等にも気を遣い、利用しやすい施設の運営に努めた。

小学生向けの行事の回数を前年比14%増加し、内容を充実させている。

隣接する大型商業施設と連携し、移動児童館を実施した他、商業施設内のテナントとマタニティスクールを開催し、子育て支援に寄与すると共に児童館の周知と集客に努めた結果、利用者数が増加している。

移動児童館について、対象地域外にも実施した他、地域内の高齢者と子どもの交流に参画指導を行い、多世代交流、ボランティアの育成、地域の活性化に寄与した。

地域内の大学生・女性団体・幼稚園・子ども会・子育て支援団体と連携を密してボランティアの受け入れ等、地域の人材を効率的に活用することで、利用者サービスの向上に努めた。

職員体制や経営状況については、問題なく行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

今日の児童館の役割をよく理解し、積極的に事業に取り組んでいる。

小学校・ボランティア・NPOとの連携ができている。

適正に管理運営されており、良好であると認められる。